

- 【図書名等】 製造業における振動工具取扱作業の知識
 ー振動工具取扱作業用教育テキスト
 コード No.23210 第2版 定価 1,188 円（本体 1,100 円＋税）
 （コード No. および定価は現行どおりです。）
- 【発行日】 平成 28 年 8 月 1 日

【改訂の概要】

| 改訂のあらまし | 該当頁 |
|---|--|
| <p>平成 26 年 6 月公布の改正労働安全衛生法等の最新の法令・通達に対応して内容を見直したほか、各種統計の更新、必要な字句の修正を行った。主な改訂箇所は以下のとおり。</p> <p>1 振動障害とは</p> <p>1-4 振動障害の発生状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文と図 1-6「手腕振動障害の新規認定患者数の推移（厚生労働省調べ）」の統計を更新。 <p>2 振動の測定と評価と影響評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真 2-1「市販されている人体振動計測器の例」の一部を削除。 <p>3 振動障害を予防するには（振動障害の予防対策）</p> <p>3-2 適切な作業の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> 前版(2)作業時間「エ 作業の進め方」から「カ 作業手順」の記述を、(1)作業方法「ウ 作業方法を改善する」の後に移動。 (3) 保護具「ア 防振手袋」の記述を修正し、写真 3-5「防振手袋」を差し替え。 図 3-17「型式検定合格標章」を差し替え。 <p>4 関係法令</p> <p>4-1 労働安全衛生法のあらまし</p> <ul style="list-style-type: none"> 「(4) 危険または健康障害の防止措置」に「化学物質等による危険性又は有害性等の調査等に関する指針（平成 27 年 9 月 1 日付け指針公示第 3 号）に関する記述を追加。 「(7) 健康管理」に「ストレスチェック」に関する記述を追加。 <p>4-4 今後の振動障害予防対策の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> 全文を追加した。 <p>【参考資料 1】 振動障害予防のための作業時間の管理の手順</p> <p>4 やむを得ず日振動ばく露限界値を超える場合の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> 図 13「1 週間（連続 7 日）の日振動ばく露量 A（8） week のイメージ」を差し替え。 | <p>20～21</p> <p>25</p> <p>56～60</p> <p>68</p> <p>71</p> <p>82～83</p> <p>85</p> <p>104～105</p> <p>128</p> |